

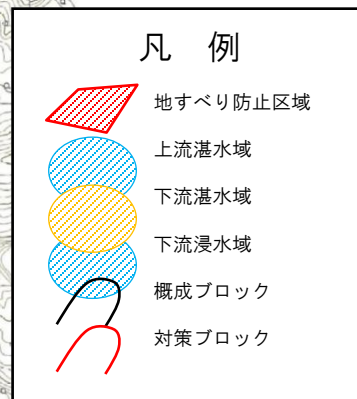
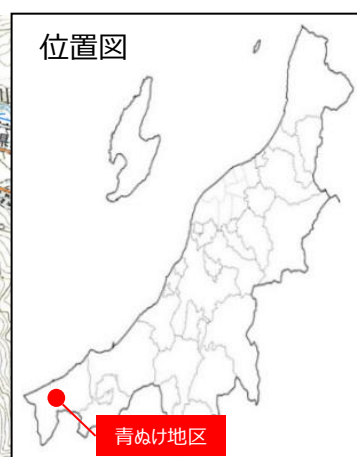
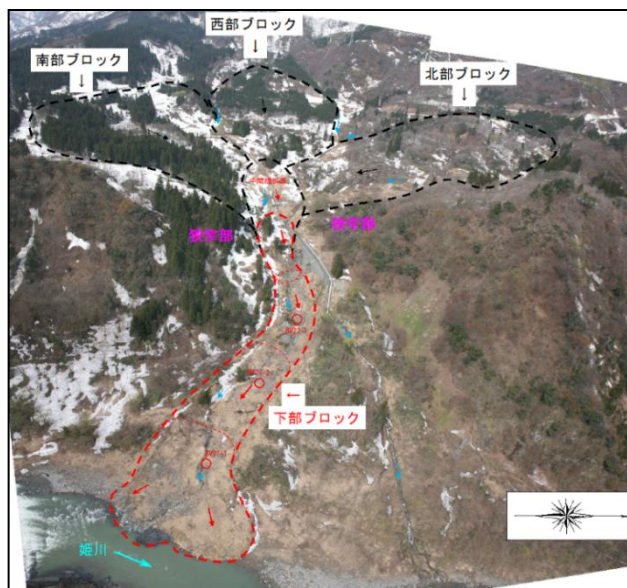
○事業目的

青ぬけ地区は、糸魚川市街地から南へ約6km、一級河川・姫川の左岸に位置する地すべり地です。地名の由来となっている蛇紋岩（青味を帯びた岩石）が分布しており、地質的に地すべりが起こりやすく、昭和以前から大規模な地すべりの発生記録が残っています。

昭和59年に地区内の斜面下部で地すべりが発生したことを契機に、昭和60年度から地すべり対策事業に着手しました。地すべりブロックの末端が姫川に接しているため、大規模なすべりが発生した場合、河道閉塞によって重大な被害を引き起こすおそれがあります。事業開始直後は、年間の地すべり移動量が10～20mに達するなど非常に激しい動きを示しており、対策工事は困難を極めました。長年の観測と対策工事の効果で、現在は地下水位が低下し、年間移動量は0～1m程度まで緩和されています。今後は、計画を残している斜面下部ブロックの早期概成を目指し、事業を進めていきます。

○事業概要

- 事業箇所：糸魚川市小滝地内
- 事業内容：地すべり対策（集水井工、集水ボーリング工、流路工、床固工など）
- 事業期間：昭和60年度～令和10年度



青ぬけ地区における工事で掘り出された蛇紋岩